

# 「人生100年時代における 結婚・仕事・収入に関する調査」 中間報告書



◆調査名:「人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」

◆調査実施者:内閣府 男女共同参画局

◆調査方法:インターネットアンケート調査

◆調査対象者と回収状況:

回収数	20,000人
対象	全国の20～60代のインターネットパネル登録モニター
調査期間	令和3年12月27日～令和4年1月11日

【調査検討委員会】・・本調査の実施にあたっては、有識者からなる検討委員会を設置し、開催した。

山田 昌弘 ※主査	中央大学 文学部 教授
小林 盾	成蹊大学 文学部 教授
永瀬 伸子	お茶の水女子大学基幹研究院 教授 同大学院ジェンダー学際研究専攻長

次ページより、  
上記調査結果の内容を引用・抜粋

※調査結果は集計速報値の為最終報告数値は変更の可能性がある

## 【回収数の内訳】

令和2年国勢調査における「配偶者の有無×男女年代」とエリア(2区分)に基づき、以下のとおり回収。

【人数割合】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	3.5	0.6	0.02	3.0	0.6	0.02
	30代	2.1	2.7	0.1	1.6	2.4	0.1
	40代	1.9	4.3	0.3	1.5	3.7	0.3
	50代	1.4	4.1	0.4	1.0	3.5	0.4
	60代	0.8	4.0	0.5	0.6	3.7	0.5
女性	20代	3.2	0.8	0.05	2.7	0.8	0.1
	30代	1.4	3.2	0.2	1.2	2.8	0.2
	40代	1.2	4.6	0.6	1.0	4.0	0.6
	50代	0.8	4.3	0.8	0.7	3.8	0.7
	60代	0.4	4.1	1.0	0.3	3.9	1.0
合計		100%					

【回収割付】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	706	118	4	595	118	4
	30代	410	545	22	323	487	22
	40代	376	855	58	294	749	57
	50代	272	820	85	203	699	80
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	549	160	11
	30代	287	632	45	239	561	47
	40代	236	920	111	204	808	113
	50代	158	856	150	136	754	150
	60代	77	824	200	68	770	201
合計		2万人					

## 本調査 回収数

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	706	119	4	595	118	4
	30代	410	545	22	324	487	22
	40代	376	855	58	294	749	57
	50代	272	820	85	203	699	80
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	549	160	11
	30代	287	632	45	239	561	47
	40代	236	920	111	204	808	113
	50代	158	856	150	136	754	150
	60代	77	824	200	74	776	189
合計		2万人					

※配偶関係「不詳」と回答している人を除いて総数を算出  
 ※東日本・西日本の定義:東日本とは新潟県、長野県及び静岡県以外の都道府県、西日本とは富山県、岐阜県及び愛知県以西の府県としている

【配偶者の有無 について】  
 (1)「未婚」とは、まだ結婚したことがない人をいう。  
 未婚には乳幼児なども含む。  
 (2)「有配偶」とは、現在結婚している人をいう。  
 (3)「死別」とは配偶者と死別し、再婚していない人をいう。  
 (4)「離別」とは離婚し、再婚していない人をいう。  
 なお、「既婚」とは未婚ではないということであり、「有配偶」「死別」「離別」を指す。

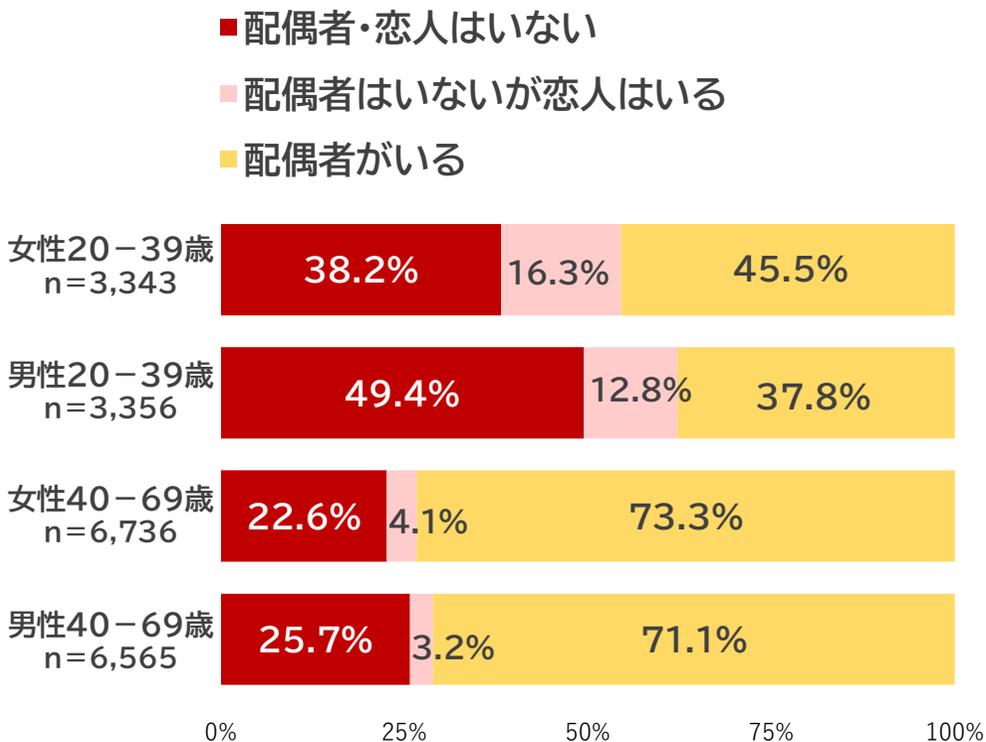
【集計結果について】  
 ・クロス集計や平均値の比較に関してはカイ2乗検定等による検定を行っている。グラフ・図表で示した内容のうち、5%水準で統計的に有意ではない結果については、注釈にてその旨を記す。  
 (特段記載がない箇所は、5%水準で統計的に有意である結果である)

## 2. 基本属性

## 1. 配偶者状況

- ・「配偶者がいる」は、「40-69歳」では男女とも7割強。
- ・「配偶者・恋人はいない」は、「女性20-39歳」で38.2%、「男性20-39歳」で49.4%。
- ・離婚経験については、「女性40-69歳」で17.1%、「男性40-69歳」で11.6%。

### Q. 現在、配偶者や恋人がいるか



### Q. 離婚・死別の経験

離婚・死別経験割合		
	過去に離婚したことがある	過去に死別したことがある
女性20-39歳 (n=3,343)	6.0%	0.6%
男性20-39歳 (n=3,356)	3.6%	0.8%
女性40-69歳 (n=6,736)	17.1%	3.3%
男性40-69歳 (n=6,565)	11.6%	1.5%

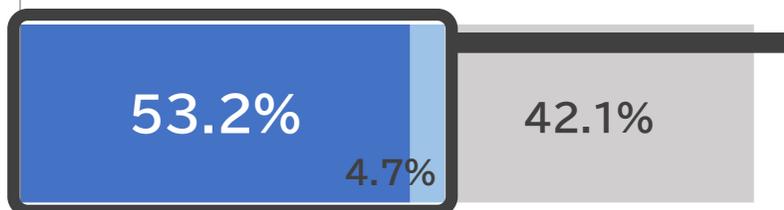
## 2. 職業情報

- ・男性有職者は83.0%に対して、女性有職者は57.9%。
- ・勤務形態は、男女とも「フルタイムで残業はほとんどない仕事」は3割前後と同程度だが、「フルタイムで残業がある仕事」は男性51.6%、女性18.6%。
- ・女性では「短時間勤務」が37.8%となる。

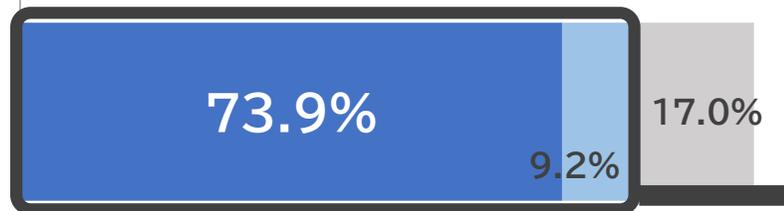
### Q. 現在の雇用形態

- 有職者／雇用されている人＋会社役員
- 有職者／その他(自営業など)
- 仕事をしていない

女性  
n=10,079



男性  
n=9,921

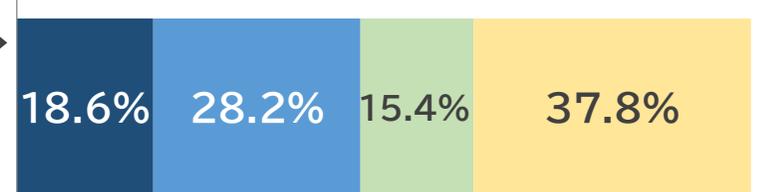


### Q. 現在の勤務形態

※有職者が対象

- フルタイムで残業がある仕事 ※残業月10時間以上
- フルタイムで残業はほとんどない仕事 ※残業月9時間以下
- 時間を調整・融通がきく仕事
- 短時間勤務

女性  
n=5,838



男性  
n=8,235

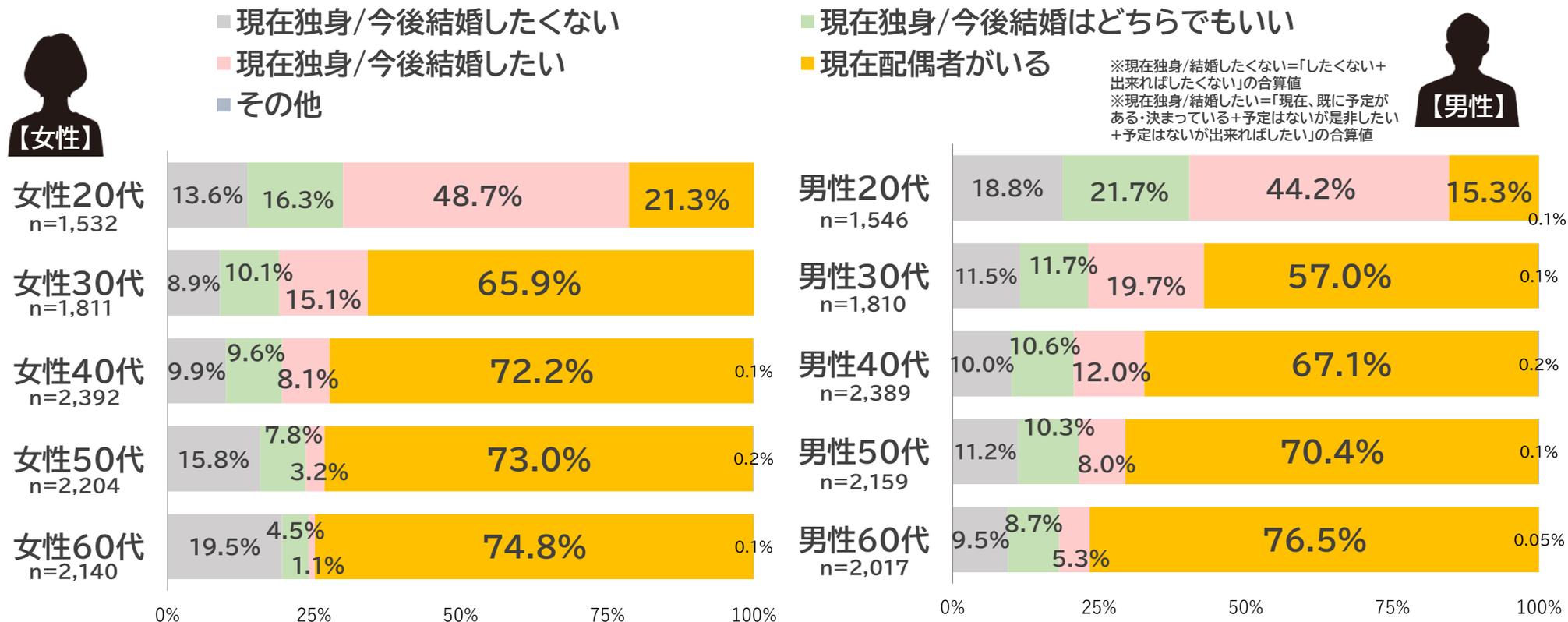


### 3. 結婚・家族を取り巻く状況

## 1. 配偶者状況と今後の結婚意思

- ・女性20代では、「今後結婚したくない」とした人は、13.6%。
- ・男性20代では、「今後結婚したくない」とした人は、18.8%。

### Q. 年齢別の結婚状況と、今後結婚したいと思うかについて



## 2. 各ターニングポイントの理想の年齢

- ・最初に結婚する年齢・最初の結婚時の配偶者の年齢共に、理想は「男性(夫)」は28歳、「女性(妻)」は26歳となった。
- ・第一子を持つ年齢は、男女ともに、最初の結婚時の年齢から+2歳足した年齢で、女性は28歳、男性は30歳。
- ・自分が「この年齢までは働きたい」と思う理想の年齢は、女性で54歳、男性で62歳。

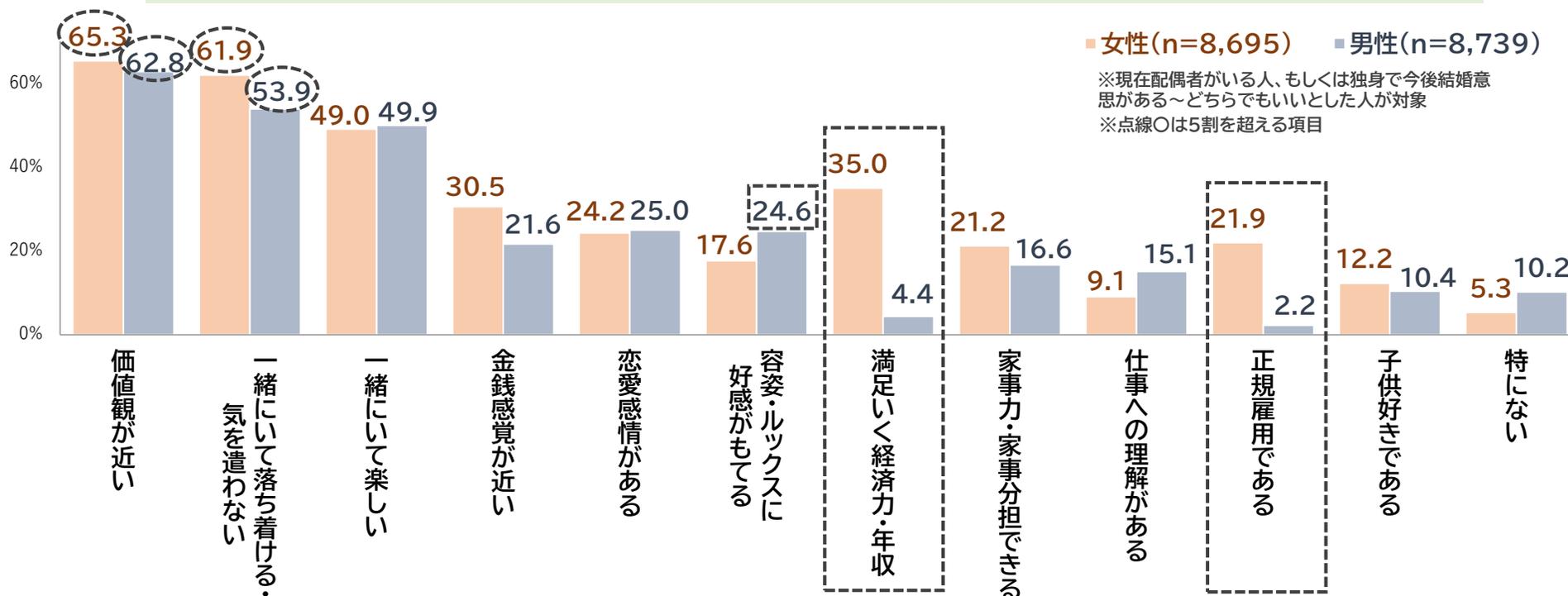
理想の年齢	女性	男性
最初に結婚する年齢	26.1歳 (n=9,030)	28.0歳 (n=8,875)
最初の結婚時の配偶者の年齢	28.3歳 (n=8,924)	26.2歳 (n=8,776)
第一子を持つ年齢	27.8歳 (n=8,840)	29.9歳 (n=8,697)
自分が「この年齢までは働きたい」と思う年齢	53.9歳 (n=8,844)	62.0歳 (n=8,787)
配偶者に「この年齢までは働いて欲しい」と思う年齢	64.9歳 (n=8,447)	55.3歳 (n=8,881)

※全て全回答値の平均年齢  
(必須設問としていない為、nが異なる)  
※文中の年齢は四捨五入して記載

## 3. 結婚前の理想(相手に求める・求めたこと)

- ・男女とも5割を超える項目は、「価値観が近い」、「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」。
- ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「満足いく経済力・年収」、「正規雇用である」など。男性の方が高いものは、「容姿・ルックスに好感がもてる」など。

### Q. 結婚相手に求める・求めたこと

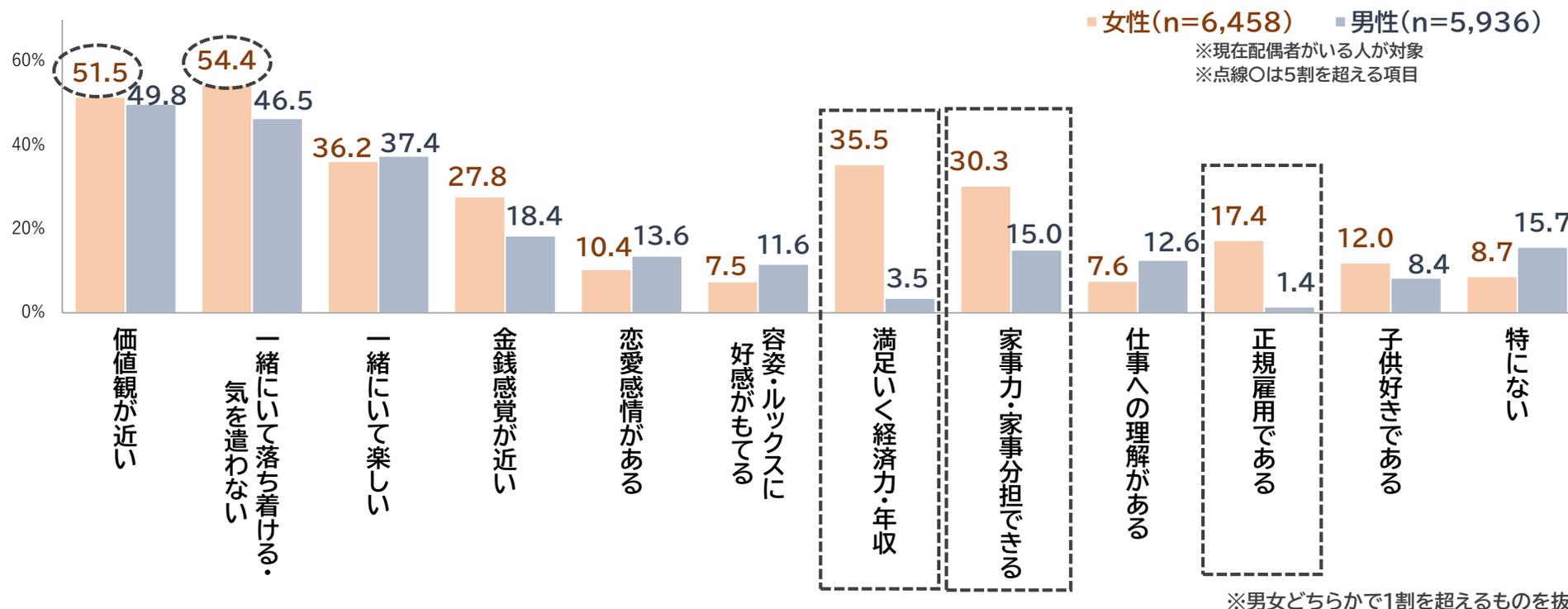


※男女どちらかで1割を超えるものを抜粋

## 4. 現在、結婚相手に求めること

- ・5割を超える項目は、女性では「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」「価値観が近い」。男性ではなかった。
- ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「満足いく経済力・年収」、「正規雇用である」、「家事力・家事分担できる」など。

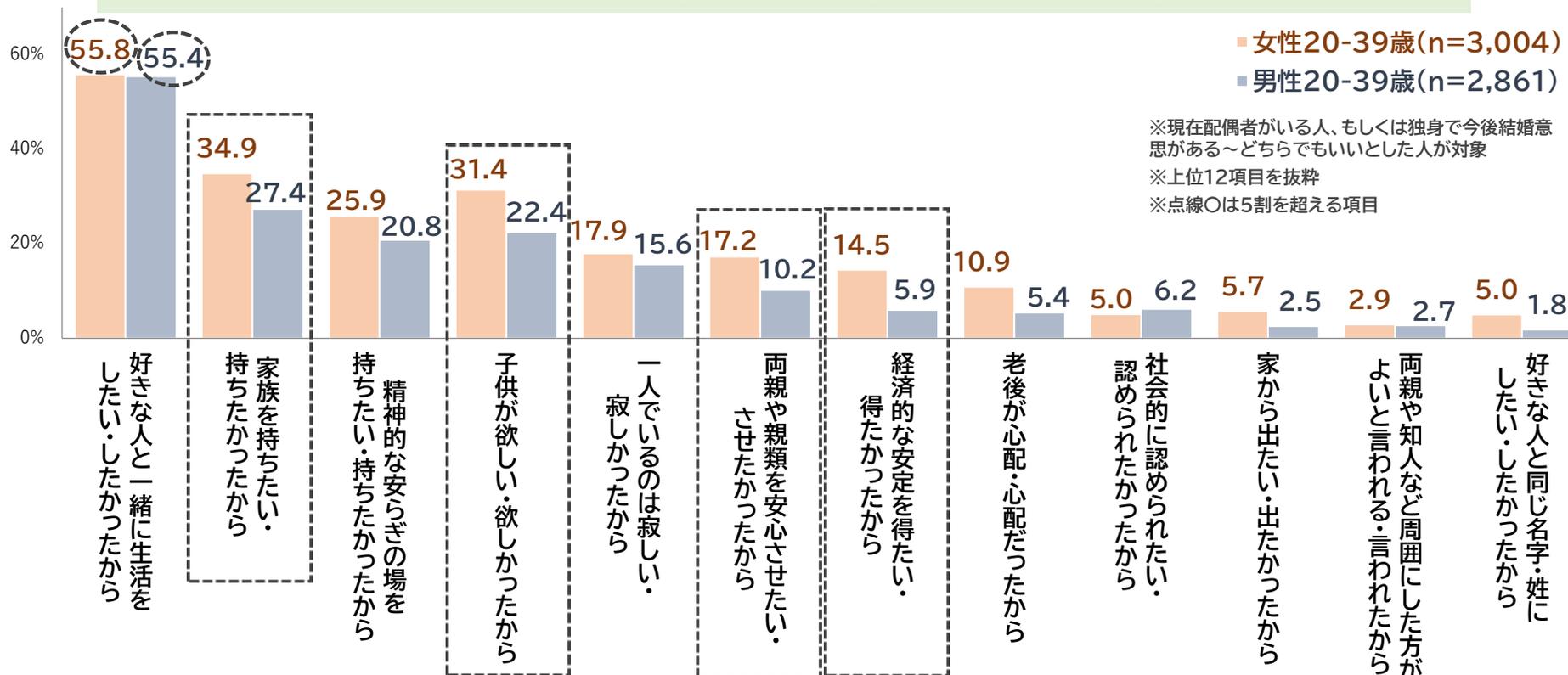
### Q. 現在、結婚相手に求めること(既婚者対象)



## 5. 結婚したい・結婚した理由(①20-39歳)

- ・男女とも5割を超える項目は、「好きな人と一緒に生活をしたかったから」。
- ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「子供が欲しい・欲しかったから」「経済的な安定を得たい・得たかったから」「家族を持ちたい・持ちたかったから」「両親や親類を安心させたい・させたかったから」など。

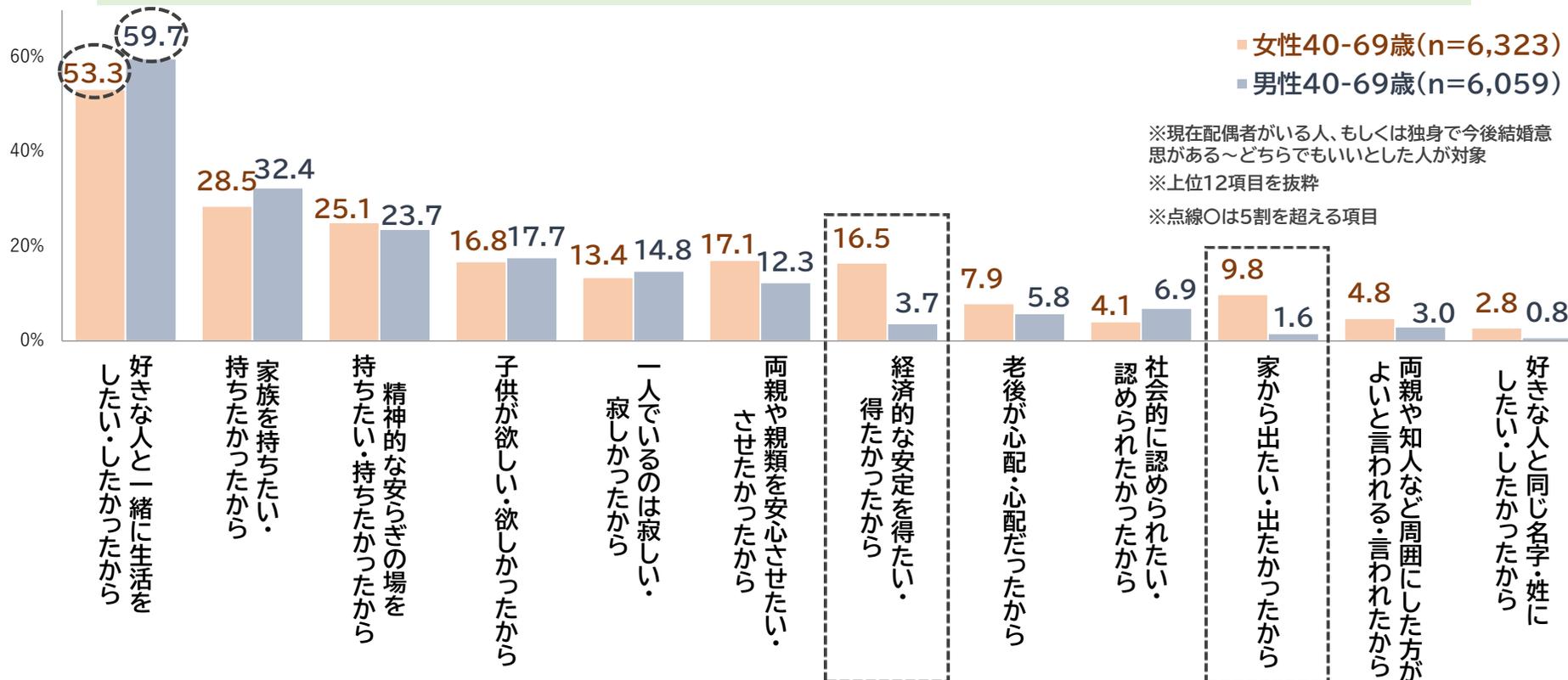
### Q. 結婚したい・結婚した理由(①20-39歳)



## 5. 結婚したい・結婚した理由(②40-69歳)

- ・男女とも5割を超える項目は、「好きな人と一緒に生活したい・したかったから」。
- ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「経済的な安定を得たい・得たかったから」「家から出たい・出たかったから」など。

### Q. 結婚したい・結婚した理由(②40-69歳)

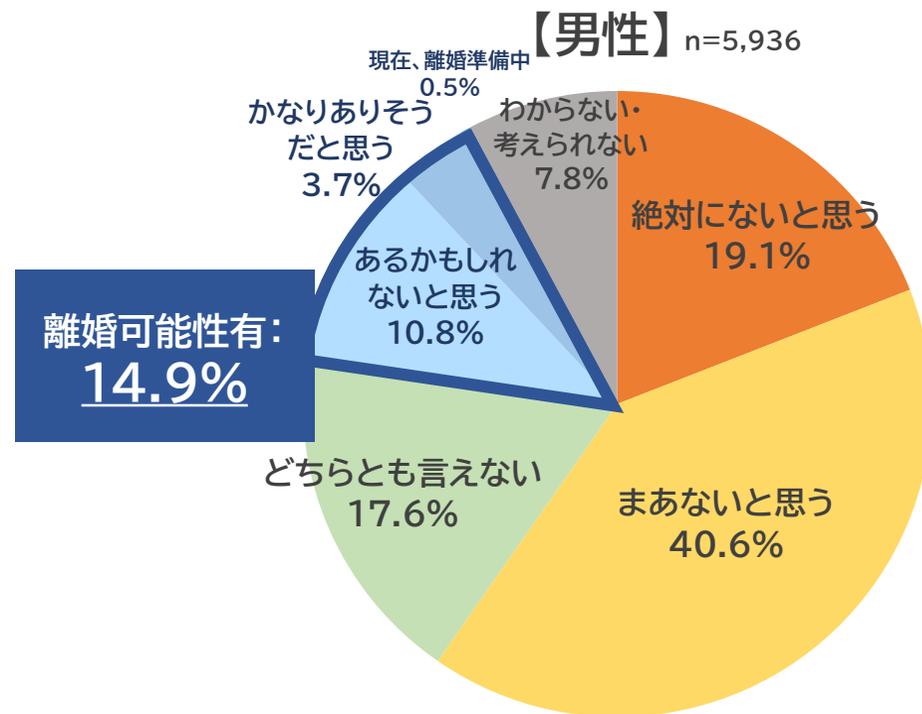
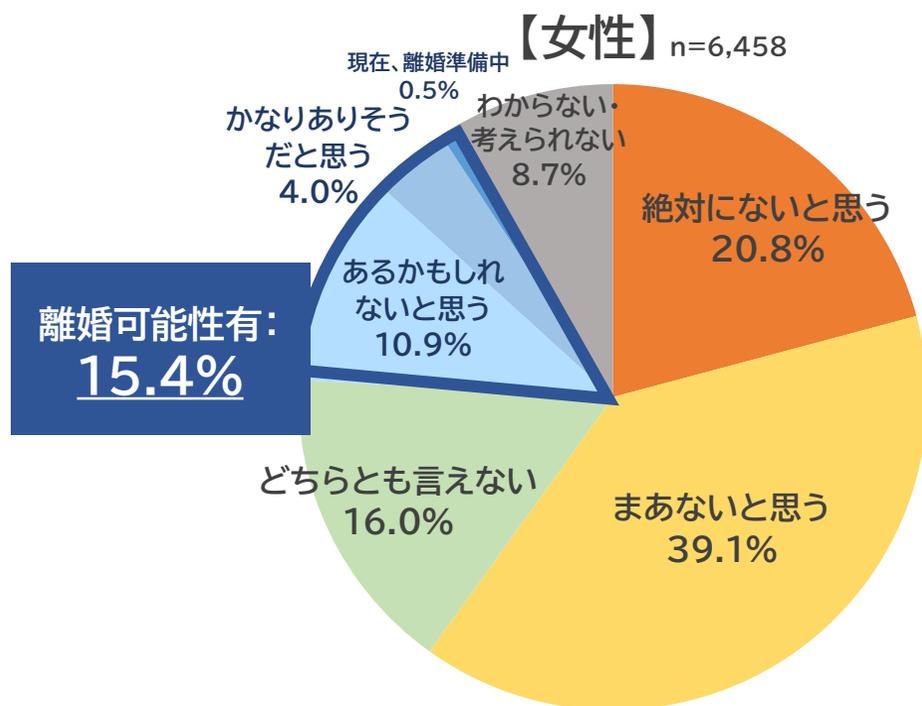


## 6. 今後の離婚意向

- ・最も多いのは「まあないと思う」で、男女共に4割前後。
- ・離婚可能性有とした人は、男女ともに15%前後。

※現在結婚している人が対象

### Q. 将来、離婚する可能性はあると思うか



## 7. 今後、結婚したくない理由(①20-39歳)

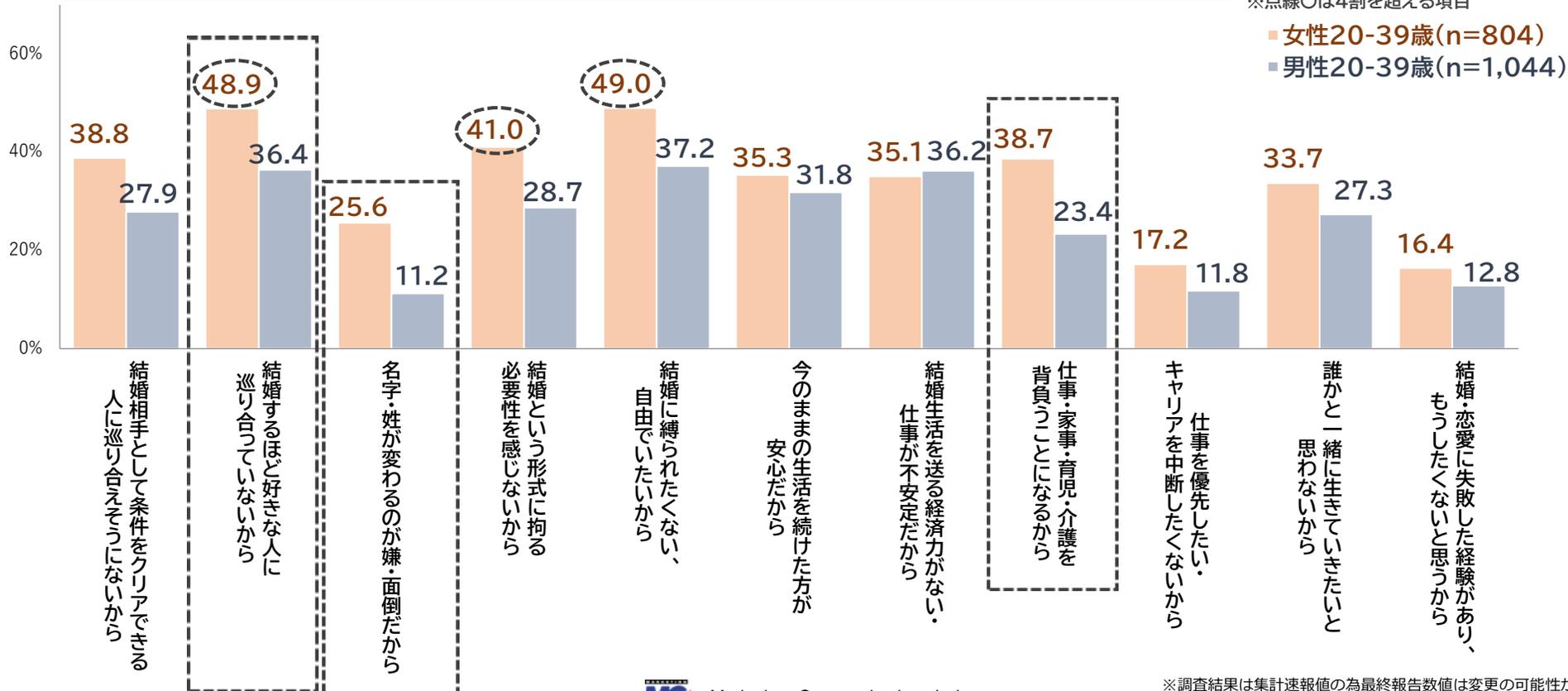
※「当てはまる」～「当てはまらない」の五段階で実施、「当てはまる」「やや当てはまる」を合算した数値を掲載

- ・4割を超える項目は、女性では「結婚に縛られたくない、自由でいたいから」「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」「結婚という形式に拘る必要性を感じないから」。男性ではなかった。
- ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」「名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから」「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」など。

### Q. 今後、積極的に結婚したくない理由(①20-39歳)

※現在結婚しておらず、今後の結婚について「どちらでもいい」「出来ればしたくない」「したくない」としている人が対象

※点線〇は4割を超える項目



## 7. 今後、結婚したくない理由(②40-69歳)

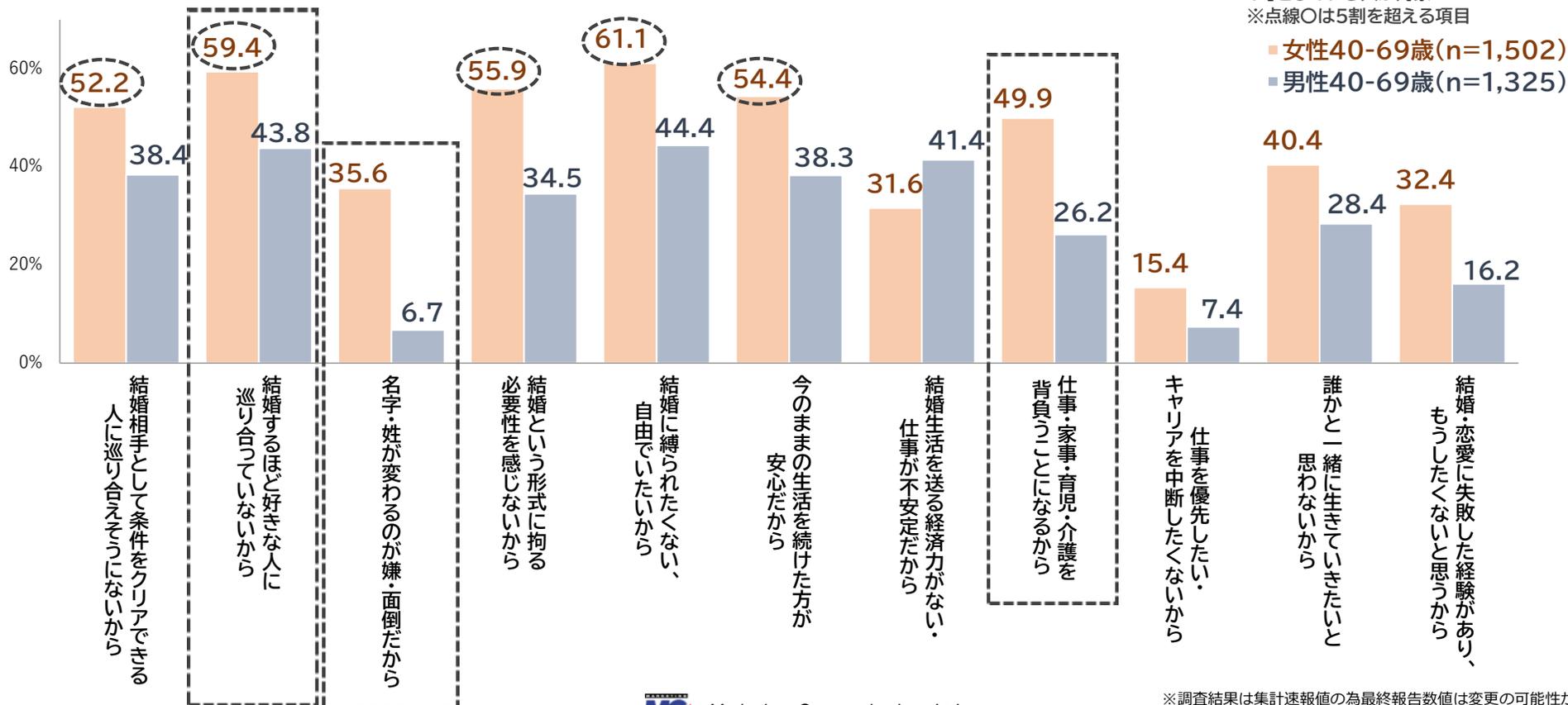
※「当てはまる」～「当てはまらない」の五段階で実施、「当てはまる」「やや当てはまる」を合算した数値を掲載

・男女とも、20-39歳に比べて割合が高い項目が多い。5割を超える項目は、女性では「結婚に縛られたくない、自由でいたいから」「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」「結婚という形式に拘る必要性を感じないから」「今のままの生活を続けた方が安心だから」「結婚相手として条件をクリアできる人に巡り合えそうにないから」。男性ではなかった。  
 ・男女で項目間に有意に差があり、女性の方が高いものは、「名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから」「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」など。

### Q. 今後、積極的に結婚したくない理由(②40-69歳)

※現在結婚しておらず、今後の結婚について「どちらでもいい」「出来ればしたくない」「したくない」としている人が対象

※点線〇は5割を超える項目

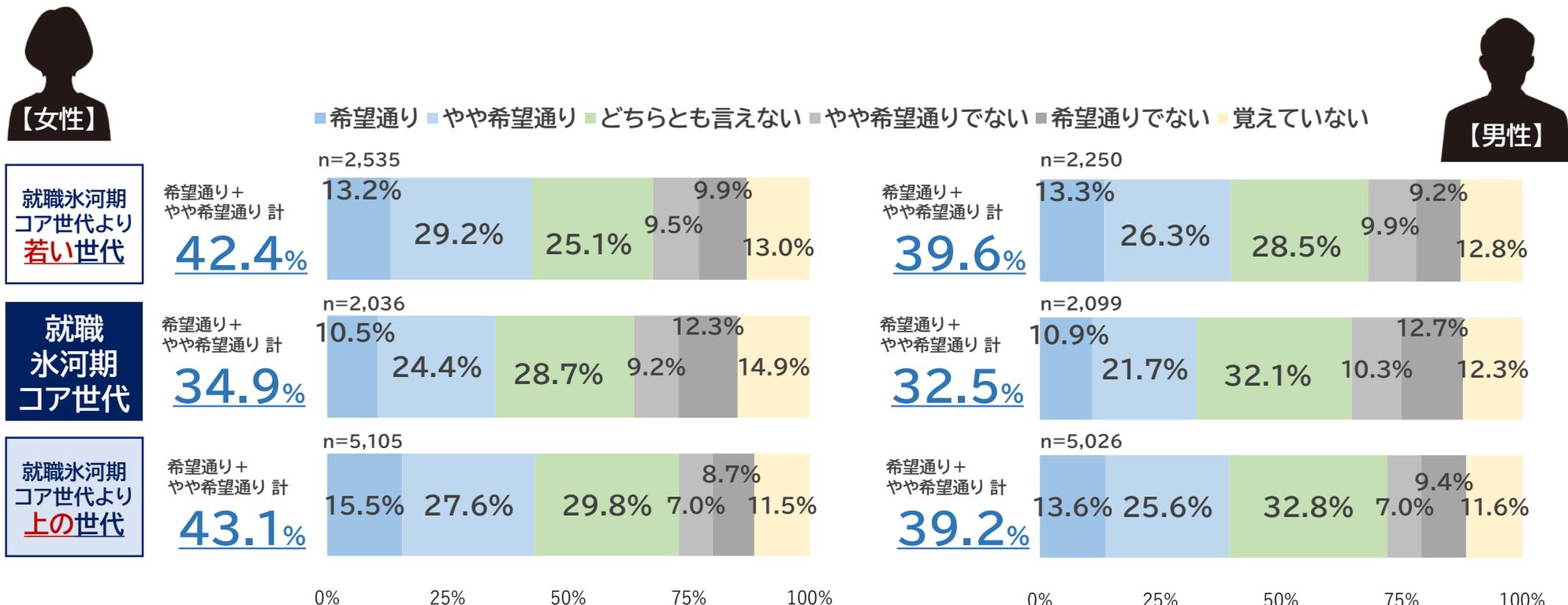


## 4. 仕事を取り巻く状況

## 1. 最終学歴後に就いた仕事の希望度

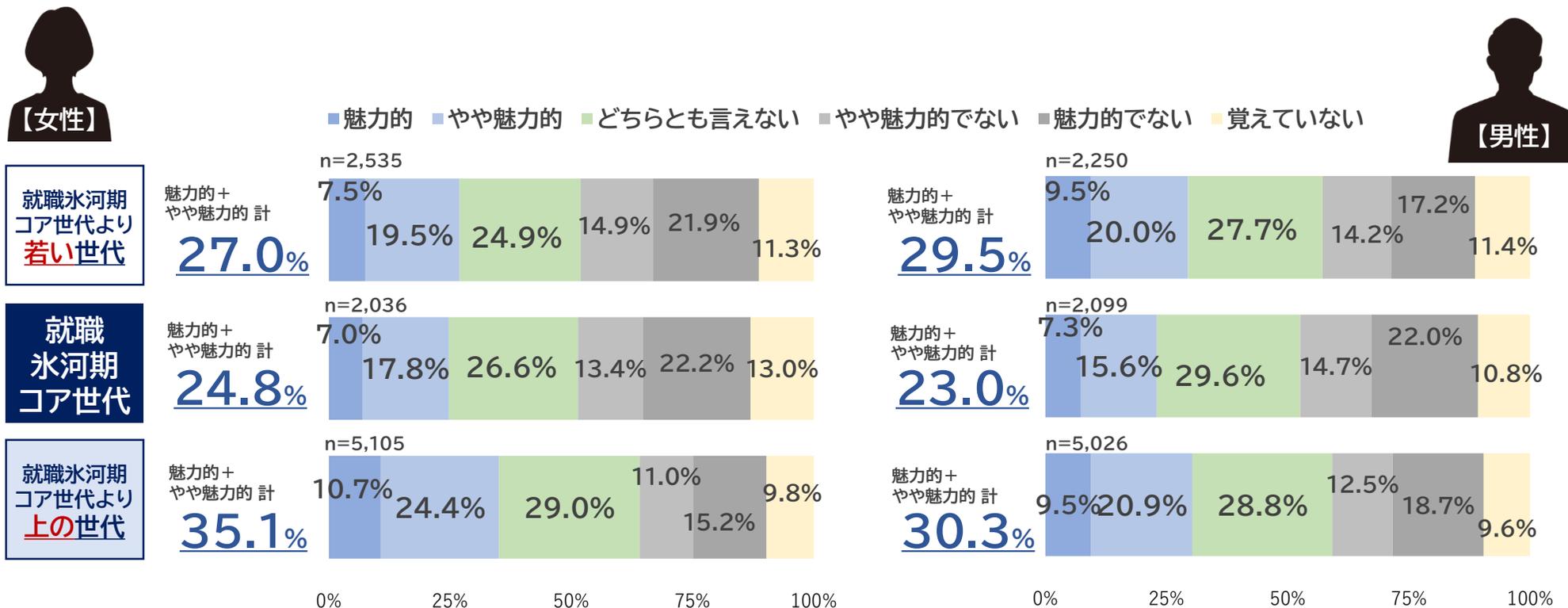
※「就職氷河期コア世代」1975年～1984年に生まれ=2021年調査時点37歳～46歳で定義  
 「就職氷河期コア世代より若い世代」1985年生まれ以降=2021年調査時点20歳～36歳で定義  
 「就職氷河期コア世代より上の世代」1974年生まれより前=2021年調査時点47歳～69歳で定義

- ・就職氷河期コア世代と、それよりも若い世代・上の世代の数値を男女で比較した。
- ・「希望通り+やや希望通り」とした割合は、女性就職氷河期コア世代では34.9%、男性就職氷河期世代では32.5%。
- ・男女共に、就職氷河期コア世代と、それよりも若い世代・上の世代において、7%近い差がある。



## 2. 最終学歴後に就いた仕事の魅力度

- ・「魅力的+やや魅力的」とした割合は、女性就職氷河期コア世代では24.8%、男性就職氷河期世代では23.0%。
- ・男女共に、就職氷河期コア世代と、それよりも上の世代において、7%以上の差がある。



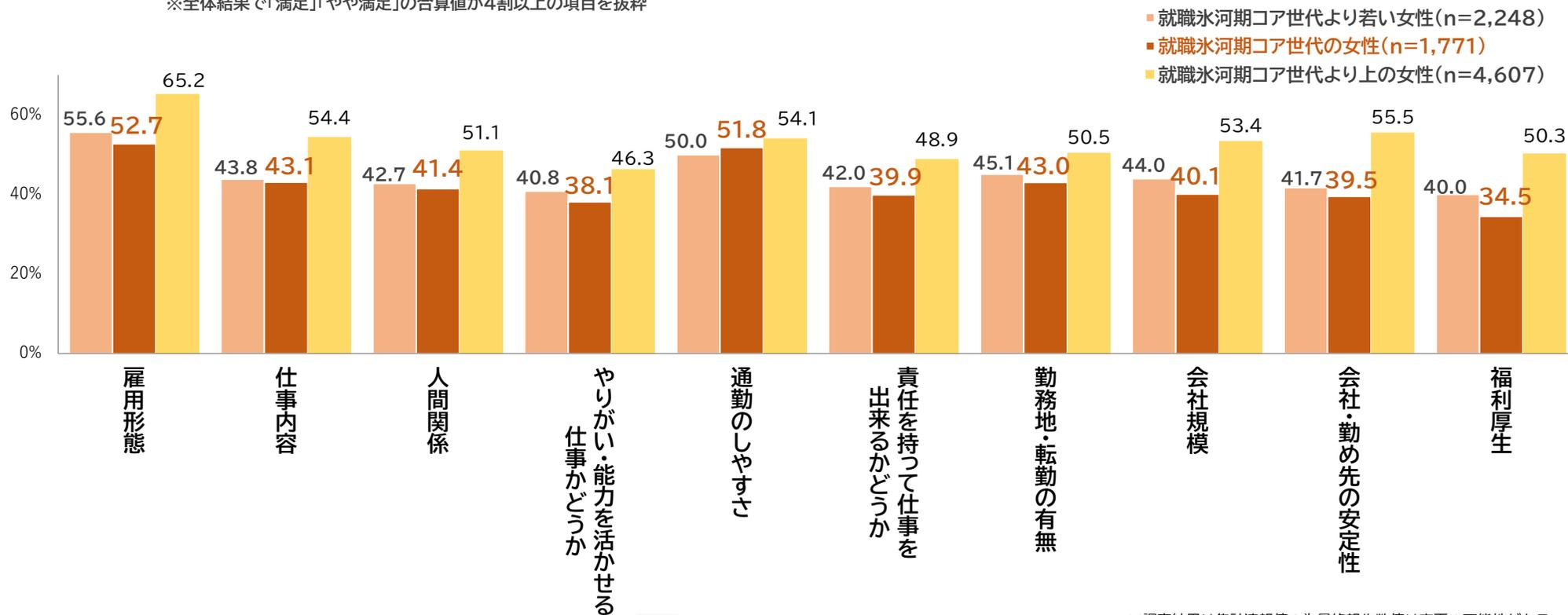
## 3. 最終学歴後に就いた仕事への満足度(女性)

※最終学歴後に就いた仕事についての満足度について「覚えていない」と答えた人以外が対象  
※「満足」～「不満」の五段階で実施、「満足」「やや満足」を合算した数値を掲載

・就職氷河期コア世代とそれよりも上の世代において、有意に差があり、就職氷河期コア世代の方が低いものは、「会社・勤め先の安定性」「福利厚生」「会社規模」「雇用形態」「仕事内容」など。

### Q. 最終学歴後に就いた仕事への満足度(女性)

※全体結果で「満足」「やや満足」の合算値が4割以上の項目を抜粋



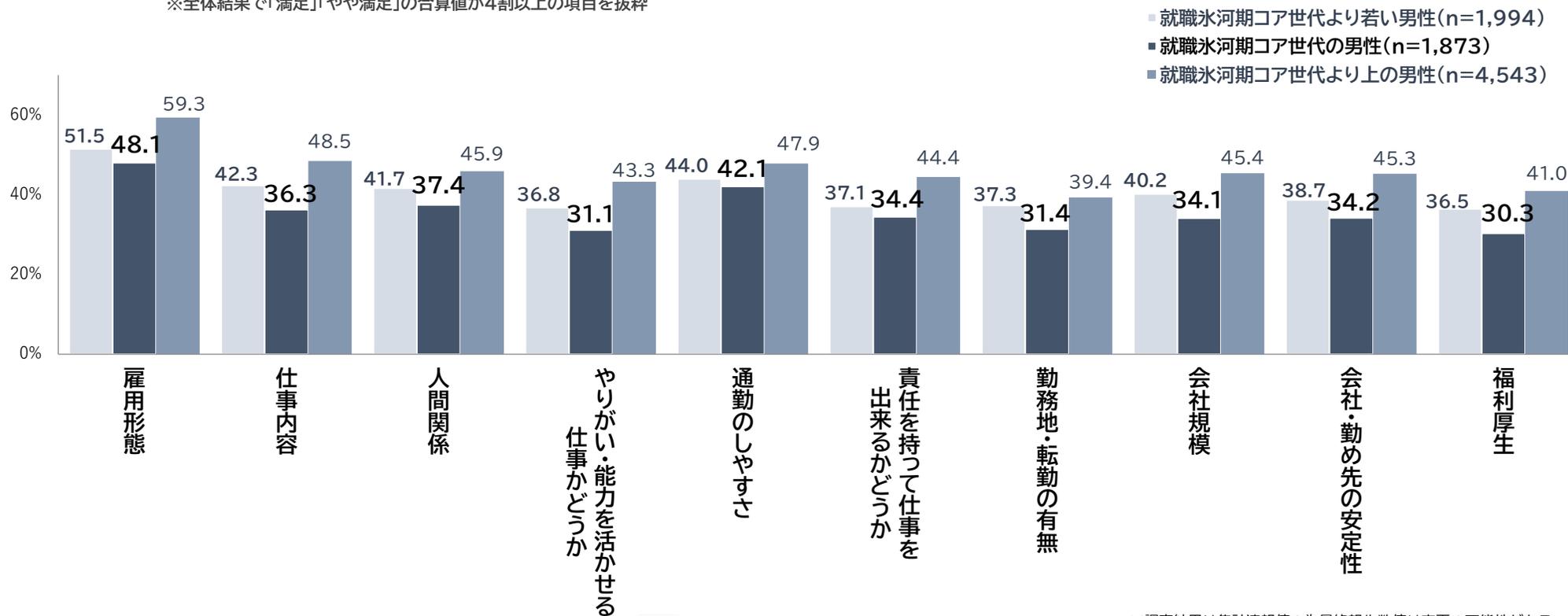
## 3. 最終学歴後に就いた仕事への満足度(男性)

※最終学歴後に就いた仕事についての満足度について「覚えていない」と答えた人以外が対象  
※「満足」～「不満」の五段階で実施、「満足」「やや満足」を合算した数値を掲載

・就職氷河期コア世代とそれよりも上の世代において、有意に差があり、就職氷河期コア世代の方が低いものは、「仕事内容」「やりがい・能力を活かせる仕事かどうか」「会社規模」「雇用形態」「会社・勤め先の安定性」「福利厚生」「責任を持って仕事を出来るかどうか」など。

### Q. 最終学歴後に就いた仕事への満足度(男性)

※全体結果で「満足」「やや満足」の合算値が4割以上の項目を抜粋



## 5. 結婚・子供を持つ事と働き方

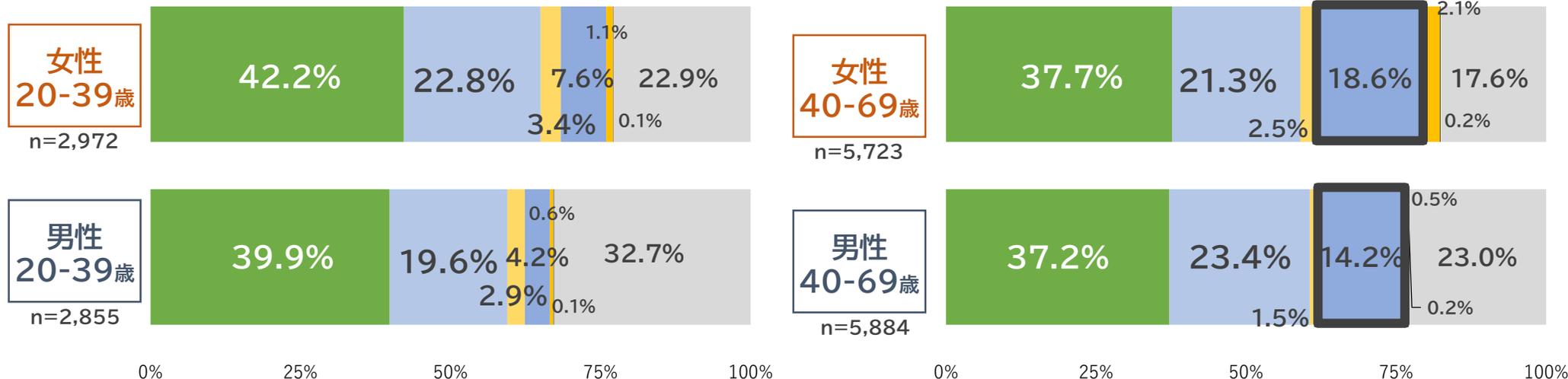
## 1. 結婚後の働き方 理想

- ・20-39歳では、「夫婦ともに原則フルタイム勤務」が男女とも4割前後。
- ・40-69歳では、「夫婦ともに原則フルタイム勤務」が男女共に37%程度。
- ・「夫は原則フルタイム勤務/妻は家事に専念」については、男女とも「40-69歳」の方が、「20-39歳」に比べて高くなっている。

### Q. 結婚後の夫婦の働き方について、結婚前に望んでいた形(理想)

※現在結婚している人、もしくは結婚意思がある～どちらでもいい人が対象

- 夫婦ともに原則フルタイム勤務
- 夫は原則フルタイム勤務／妻はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 妻は原則フルタイム勤務／夫はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 夫は原則フルタイム勤務／妻は家事に専念(働かない)
- 妻は原則フルタイム勤務／夫は家事に専念(働かない)
- その他
- 覚えていない・特に希望はない



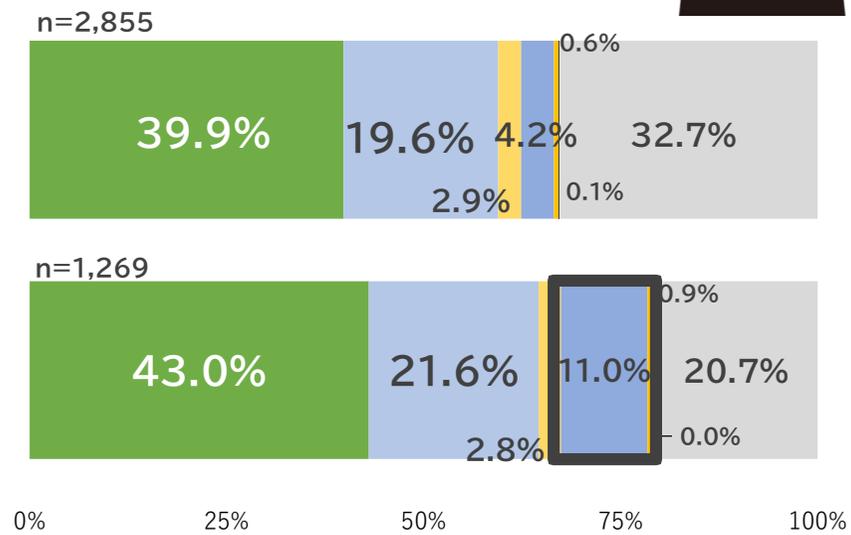
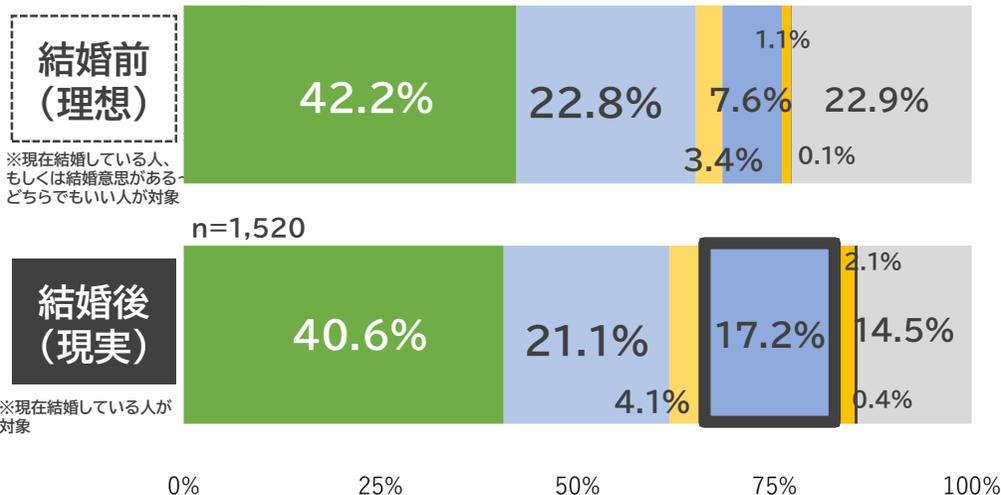
## 2. 結婚後の働き方 理想と現実(ギャップ比較)(①20-39歳)

- ・男女ともに、現実において「夫婦ともに原則フルタイム勤務」が4割を超える。
- ・「夫は原則フルタイム勤務/妻は家事に専念」については、理想での数値に対して、現実の方が高くなっている。

### Q. 結婚後の夫婦の働き方について、結婚前の理想と現実(①20-39歳)



- 夫婦ともに原則フルタイム勤務
- 夫は原則フルタイム勤務/妻はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 妻は原則フルタイム勤務/夫はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 夫は原則フルタイム勤務/妻は家事に専念(働かない)
- 妻は原則フルタイム勤務/夫は家事に専念(働かない)
- その他
- 覚えていない・特に希望はない



## 2. 結婚後の働き方 理想と現実(ギャップ比較)(②40-69歳)

- ・男女ともに、現実において「夫婦ともに原則フルタイム勤務」は32%程度。
- ・「夫は原則フルタイム勤務/妻は家事に専念」については、理想での数値に対して、現実の方が高くなっている。

### Q. 結婚後の夫婦の働き方について、結婚前の理想と現実(②40-69歳)

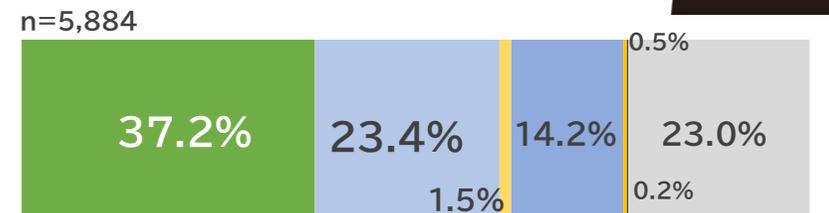


- 夫婦ともに原則フルタイム勤務
- 夫は原則フルタイム勤務/妻はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 妻は原則フルタイム勤務/夫はパートタイム・アルバイト等で勤務
- 夫は原則フルタイム勤務/妻は家事に専念(働かない)
- 妻は原則フルタイム勤務/夫は家事に専念(働かない)
- その他
- 覚えていない・特に希望はない



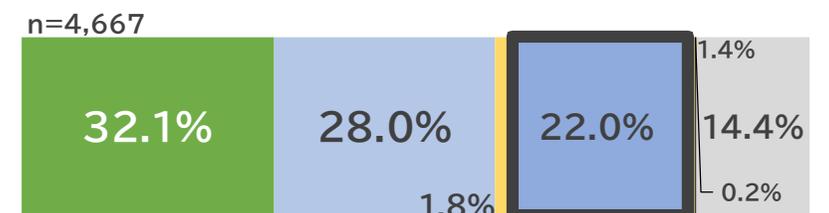
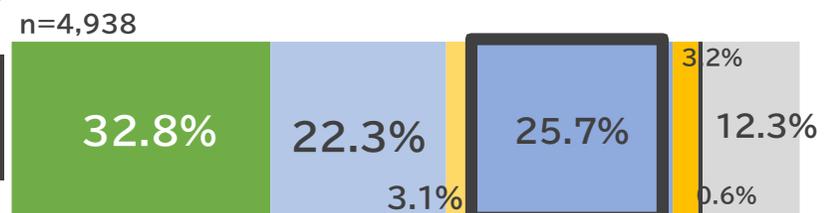
結婚前  
(理想)

※現在結婚している人、もしくは結婚意思があるどちらでもいい人が対象



結婚後  
(現実)

※現在結婚している人が対象



0% 25% 50% 75% 100%

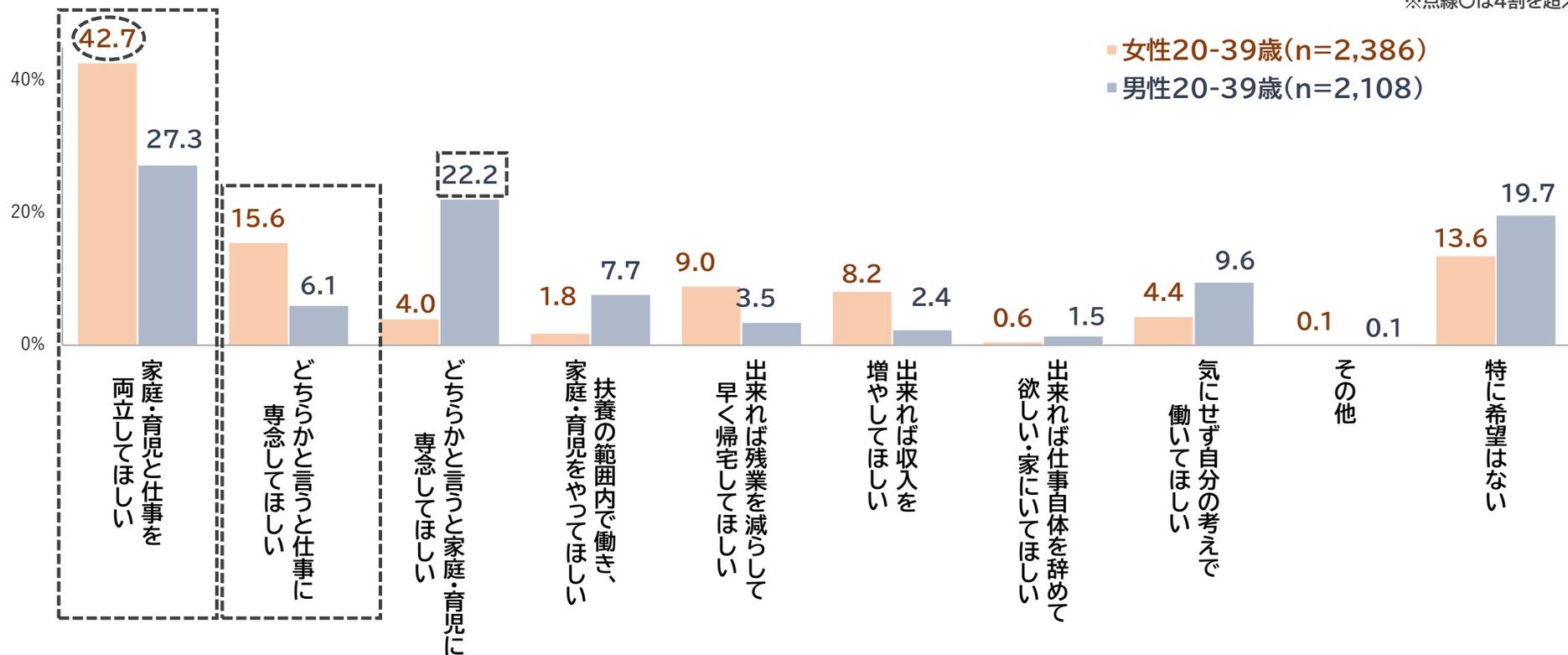
## 3. 第一子が生まれた後の配偶者の働き方への希望(①20-39歳)

- ・男女共に最も高いものは「家庭・育児と仕事を両立してほしい」。
- 女性では42.7%、男性でも27.3%だが、女性との差が大きい。
- ・次に女性では「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」15.6%(男性6.1%)、男性では「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」22.2%(女性では4.0%)。

### Q. 第一子が生まれた後、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいか(理想)(①20-39歳)

※現在子供がいる人、もしくは子供が欲しい人が対象

※点線〇は4割を超える項目

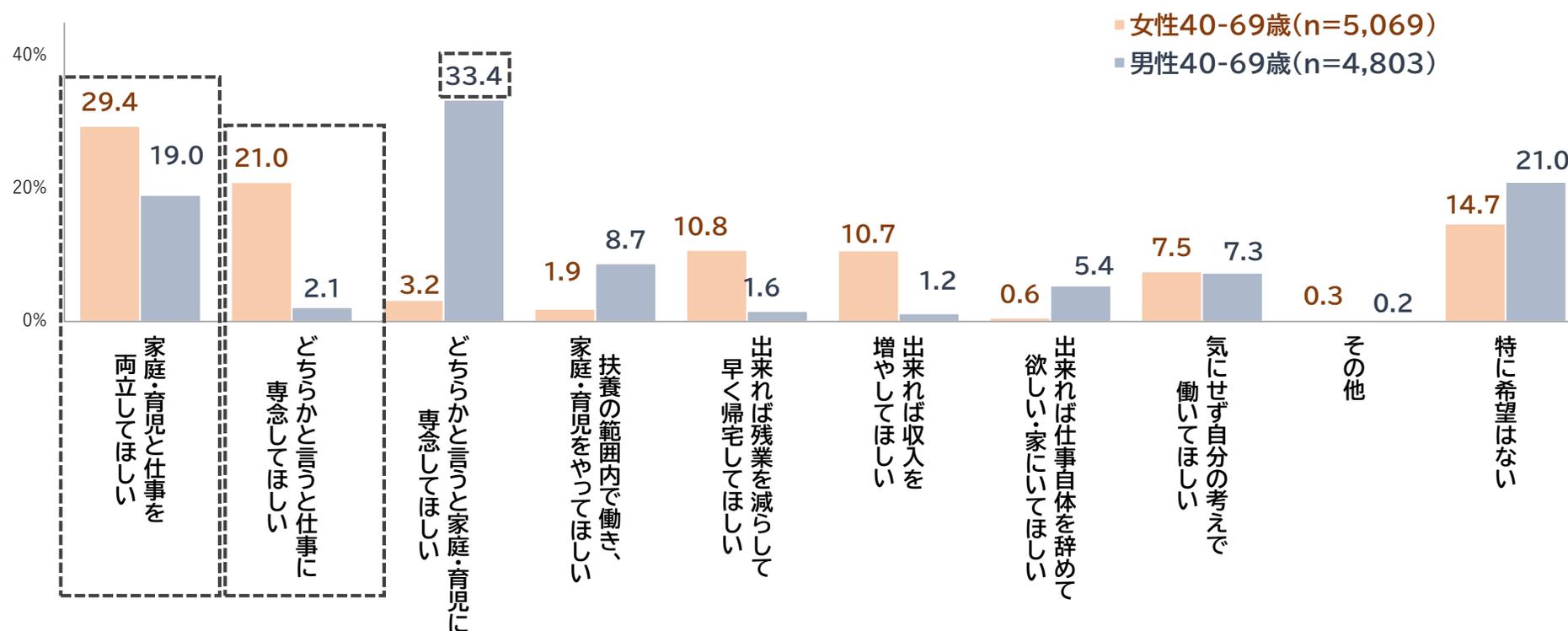


## 3. 第一子が生まれた後の配偶者の働き方への希望(②40-69歳)

- ・女性で最も高いものは「家庭・育児と仕事を両立してほしい」で29.4%(男性19.0%)。
- ・次に女性では「どちらかと言うと仕事に専念してほしい」21.0%(男性2.1%)、
- ・男性で最も高いものは、「どちらかと言うと家庭・育児に専念してほしい」33.4%(女性では3.2%)。

### Q. 第一子が生まれた後、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいか(理想)(②40-69歳)

※現在子供がいる人、もしくは子供が欲しい人が対象



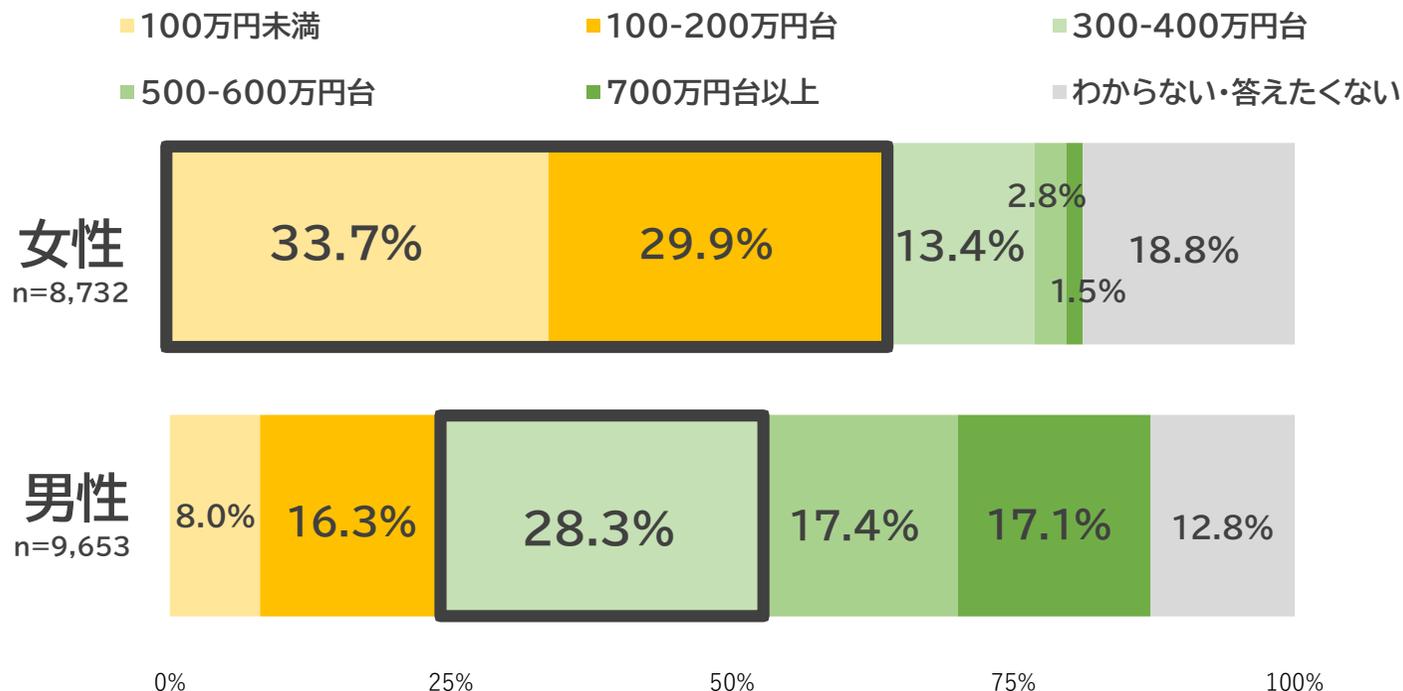
## 6. 収入を取り巻く状況

## 1. 個人年収について

- ・女性では「100万円未満」が最も多く、33.7%。次に「100-200万円台」が29.9%と、「200万円台以下」で6割を超える。
- ・男性では「300-400万円台」が最も多く、28.3%。

### Q. 2021年度の自身の個人年収

※個人年収がある人が対象



## 2. 結婚後(子供がいない時)の収入理想

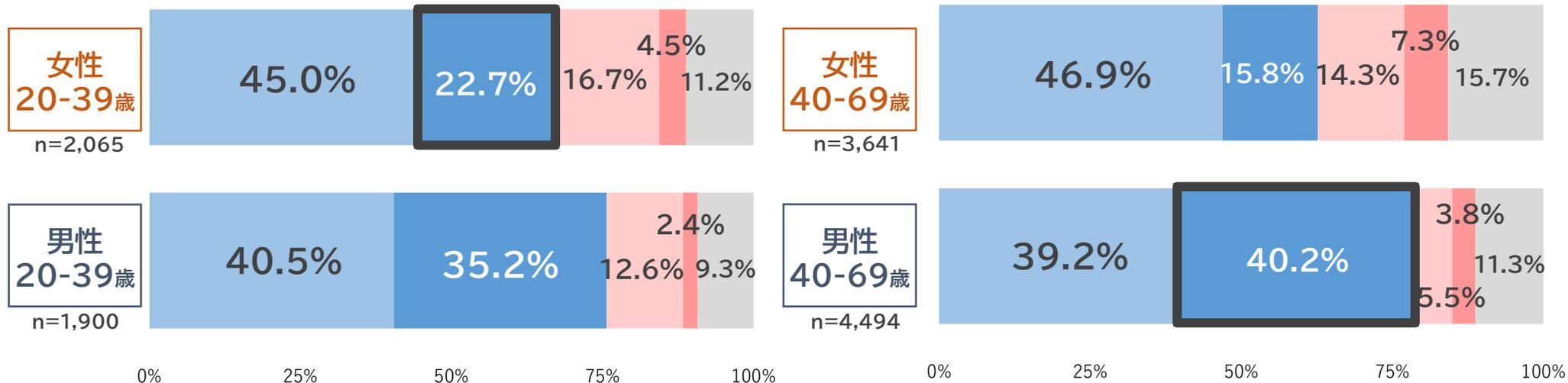
- ・20-39歳では、「結婚前と同様の収入」が男女とも最も高く、女性で45.0%、男性で40.5%。
- ・40-69歳では、女性では「結婚前と同様の収入」が最も高く、46.9%。男性では「結婚前を上回る収入」40.2%、「結婚前と同様の収入」が39.2%。
- ・「結婚前を上回る収入」は、女性では「20-39歳」の方が高く、男性では「40-69歳」の方が高い。

### Q. 結婚後(子供がいない時)の夫婦の収入について、結婚前に望んでいた形(理想)

※現在結婚している人、もしくは結婚意思がある～どちらでもいい人で、  
結婚後働く意思がある人が対象

※結婚を起点として、前後1年間ぐらいを想定

- 結婚前と同様の収入
- 結婚前を上回る収入
- 結婚前を下回っても家庭の為に時間をある程度使えるぐらいの収入
- 配偶者控除や企業の配偶者手当を受けられるぐらいの収入
- その他
- 覚えていない・特に希望はない



## 3. 結婚後(子供がいない時)の収入 理想と現実(ギャップ比較)(①20-39歳)

- ・結婚前の理想と現実について、理想と現実を比較した。
- ・女性では「結婚前と同様～上回る収入」が減り、「結婚前を下回っても家庭の為に時間のある程度使えるぐらいの収入」「配偶者控除等を受けられるぐらいの収入」が増加。
- ・男性では「結婚前を上回る収入」が減り、「結婚前と同様の収入」が増加。

### Q. 結婚後(子供がいない時)の夫婦の収入について、結婚前の理想と現実(①20-39歳)

※結婚を起点として、前後1年間ぐらいを想定

- 結婚前と同様の収入
- 結婚前を上回る収入
- 結婚前を下回っても家庭の為に時間のある程度使えるぐらいの収入
- 配偶者控除や企業の配偶者手当を受けられるぐらいの収入
- その他
- 覚えていない・特に希望はない

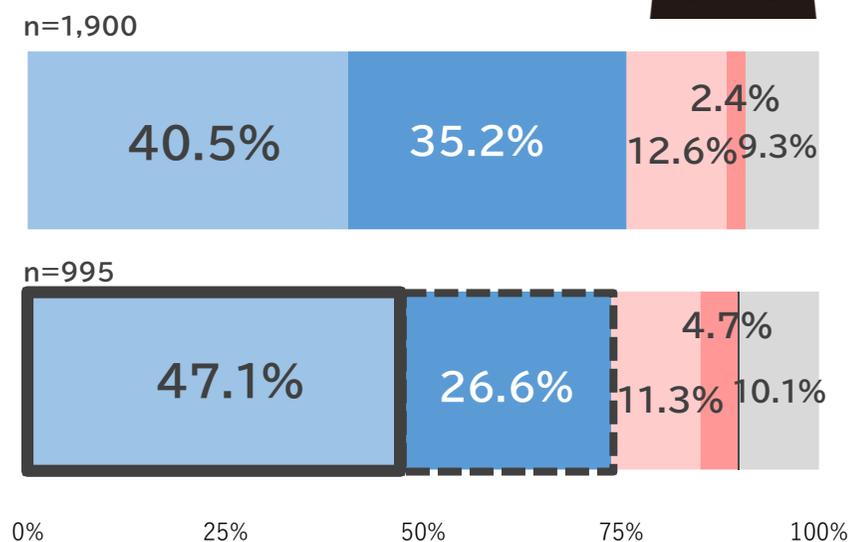
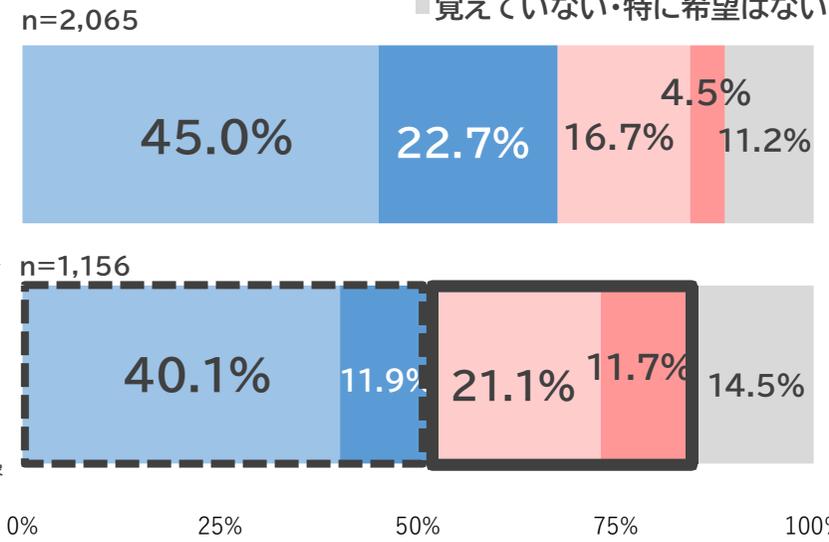


結婚前  
(理想)

※現在結婚している人、もしくは結婚意思がある～どちらでもいい人で、結婚後働く意思がある人が対象

結婚後  
(現実)

※現在結婚している人で、結婚後働いていた人が対象



## 3. 結婚後(子供がいない時)の収入 理想と現実(ギャップ比較)(②40-69歳)

- ・女性では「結婚前と同様の収入」が減り、「配偶者控除等を受けられるぐらいの収入」が増加。
- ・男性では「結婚前を上回る収入」が減り、「結婚前と同様の収入」が増加。

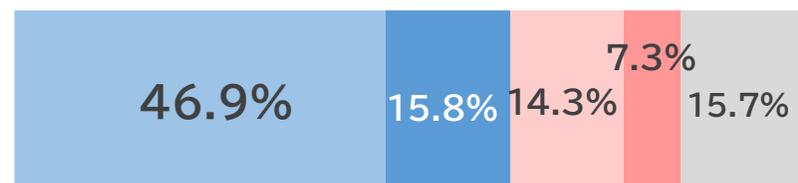
### Q. 結婚後(子供がいない時)の夫婦の収入について、結婚前の理想と現実(②40-69歳)

※結婚を起点として、前後1年間ぐらいを想定

- 結婚前と同様の収入
- 結婚前を上回る収入
- 結婚前を下回っても家庭の為に時間のある程度使えるぐらいの収入
- 配偶者控除や企業の配偶者手当を受けられるぐらいの収入
- その他
- 覚えていない・特に希望はない

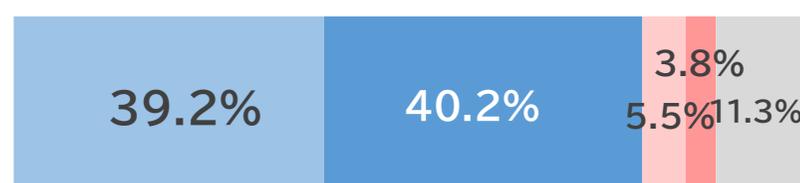
**女性**  
40-69歳  
【女性】

n=3,641

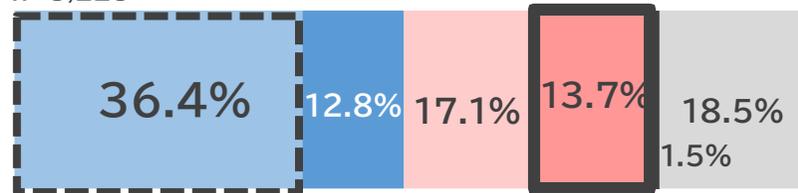


**男性**  
40-69歳  
【男性】

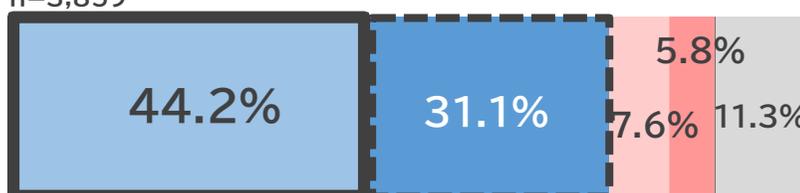
n=4,494



n=3,228



n=3,859



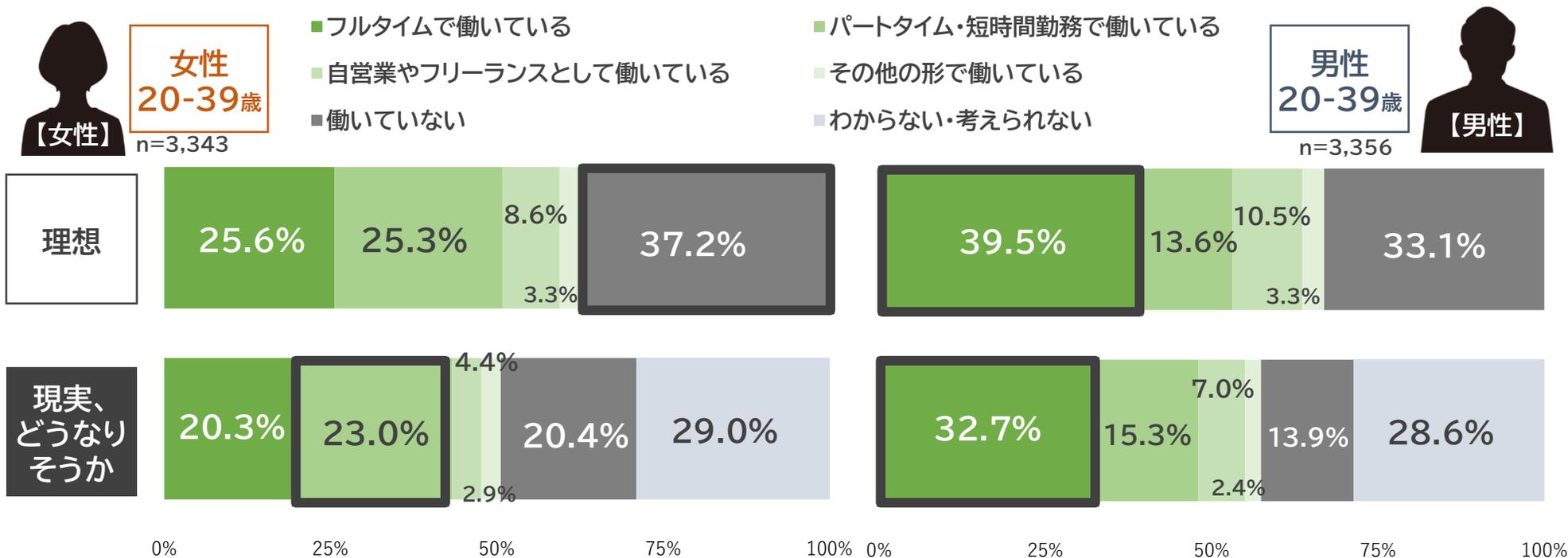
0% 25% 50% 75% 100%

## 7. 老後の生活スタイルと幸福度について

## 1. 70歳になった時の「仕事」理想と現実予測(①20-39歳)

- ・70歳になった時の状況について、「理想」と「現実にはどうなりそうか」で比較した。
- ・女性の「理想」では、「働いていない」が最も高く37.2%。「現実」では「パートタイム・短時間勤務で働いている」が最も高く23.0%。
- ・男性では、「理想」「現実」共に「フルタイムで働いている」が最も高く、「理想」では39.5%、「現実」では32.7%となった。

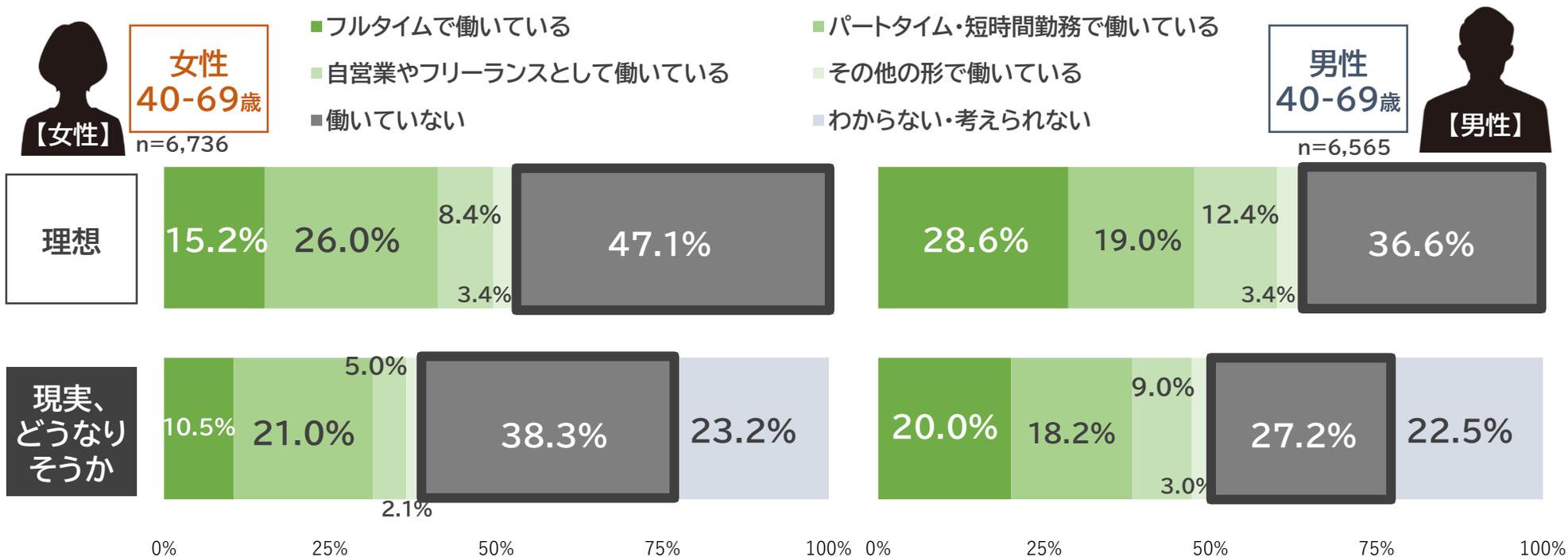
### Q. 70歳になった時の「仕事」について、理想と現実にはどうなりそうか(①20-39歳)



## 1. 70歳になった時の「仕事」理想と現実予測(②40-69歳)

- ・女性では、「理想」「現実」共に「働いていない」が最も高く、「理想」では47.1%、「現実」では38.3%となった。
- ・男性でも同様に、「理想」「現実」共に「働いていない」が最も高く、「理想」では36.6%、「現実」では27.2%となった。

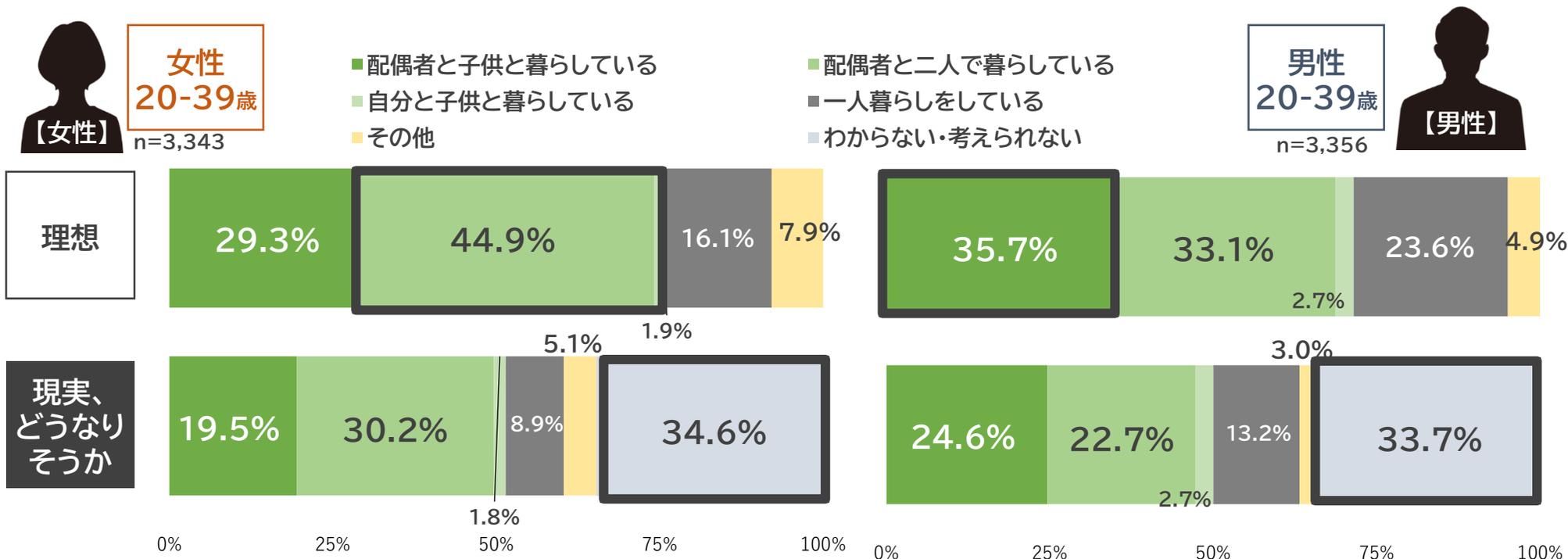
### Q. 70歳になった時の「仕事」について、理想と現実にはどうなりそうか(②40-69歳)



## 2. 70歳になった時の「家族と居住形態」理想と現実予測(①20-39歳)

- ・女性の「理想」では、「配偶者と二人」が最も高く44.9%。
- ・男性の「理想」では、「配偶者と子供」が35.7%と最も高く、「配偶者と二人」は33.1%。
- ・男女共に、「現実」では「わからない・考えられない」が34%前後とも最も高くなる。

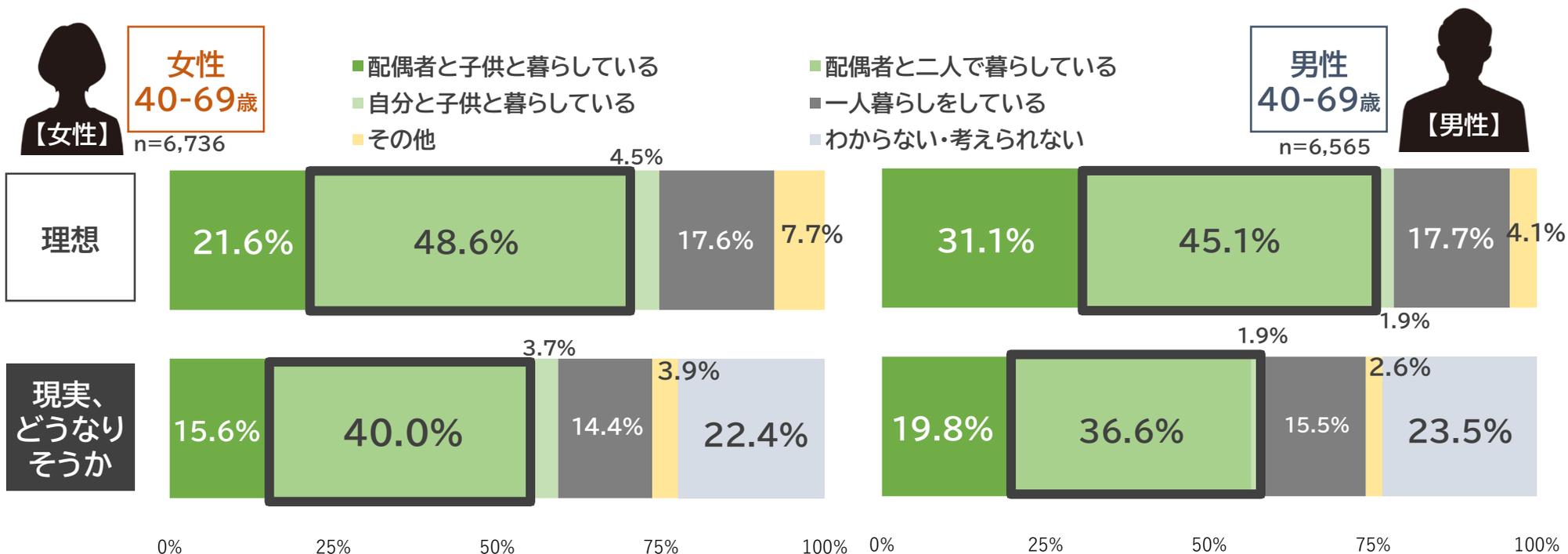
Q. 70歳になった時の「家族と居住形態」について、理想と現実にはどうなりそうか(①20-39歳)



## 2. 70歳になった時の「家族と居住形態」理想と現実予測(②40-69歳)

- ・女性では、「理想」「現実」共に「配偶者と二人」が最も高く、「理想」では48.6%、「現実」では40.0%となった。
- ・男性でも同様に、「理想」「現実」共に「配偶者と二人」が最も高く、「理想」では45.1%、「現実」では36.6%となった。

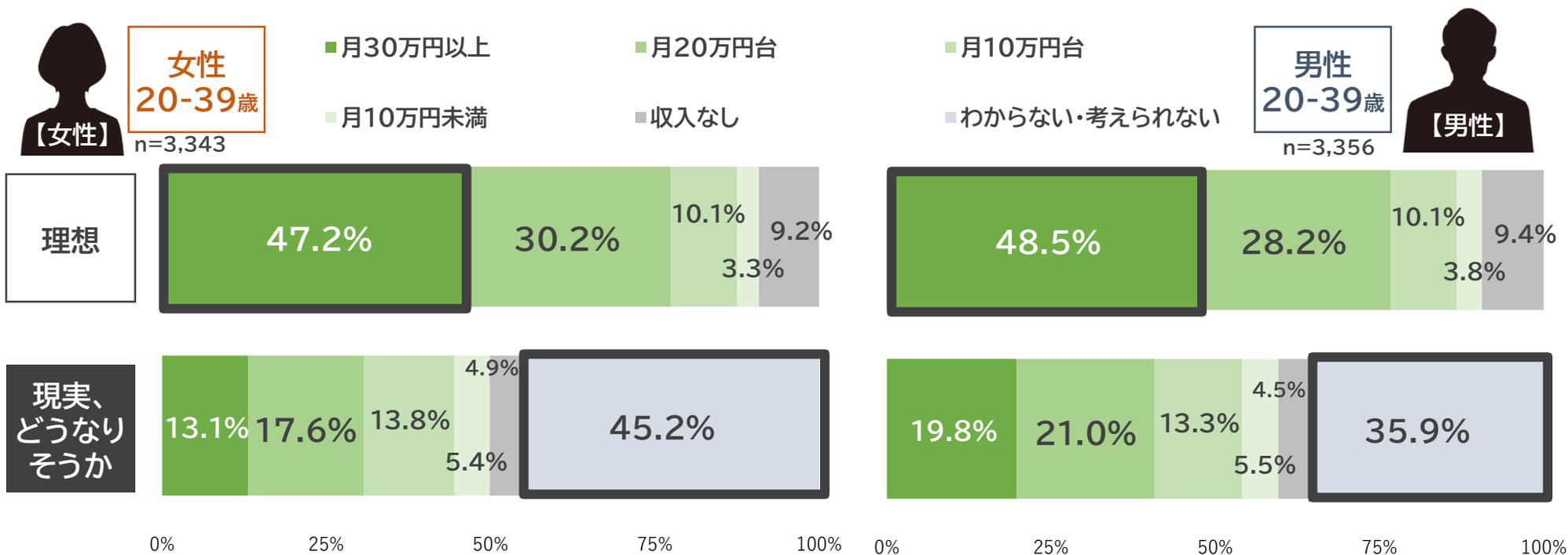
Q. 70歳になった時の「家族と居住形態」について、理想と現実にはどうなりそうか(②40-69歳)



## 3. 70歳になった時の「世帯収入」理想と現実予測(①20-39歳)

- ・男女ともに、「理想」では「月30万円以上」が最も高く、47~48%程度。
- ・男女共に、「現実」では「わからない・考えられない」が最も高くなる。

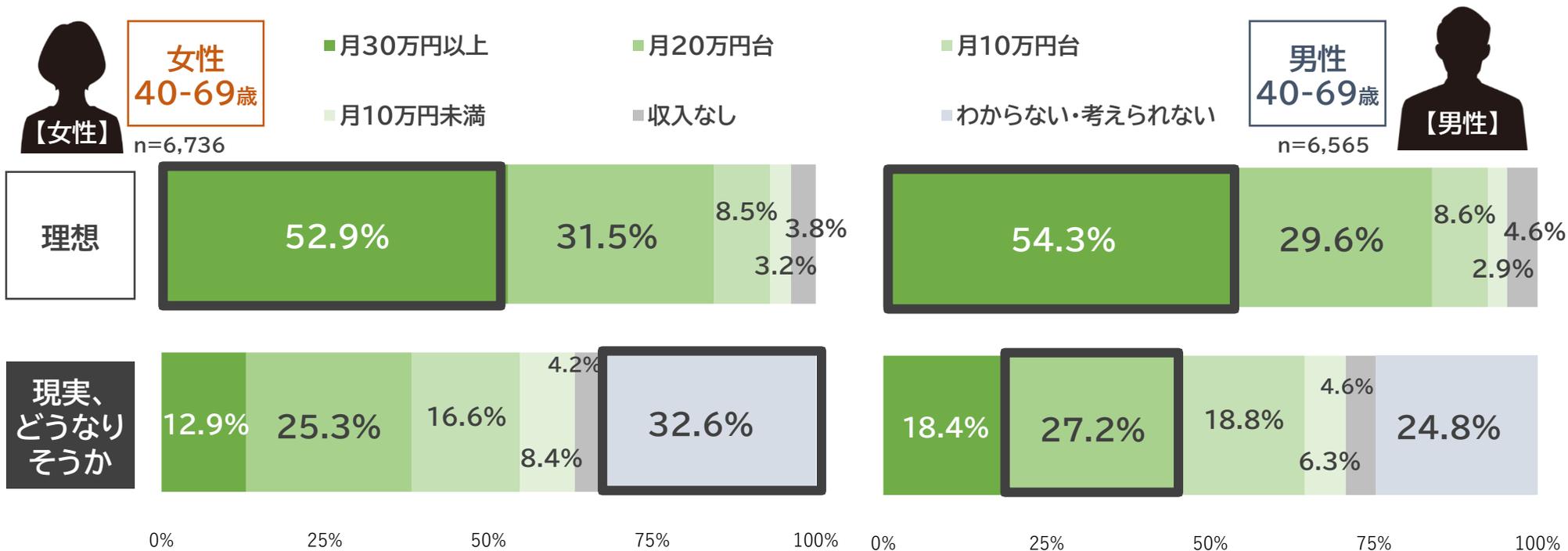
Q. 70歳になった時の「世帯収入」について、理想と現実にはどうなりそうか(①20-39歳)



## 3. 70歳になった時の「世帯収入」理想と現実予測(②40-69歳)

- ・男女ともに、「理想」では「月30万円以上」が最も高く、5割を超える。
- ・女性では、「現実」では「わからない・考えられない」が32.6%と最も高くなる。
- ・男性では、「現実」では「月20万円台」が27.2%と最も高くなる。

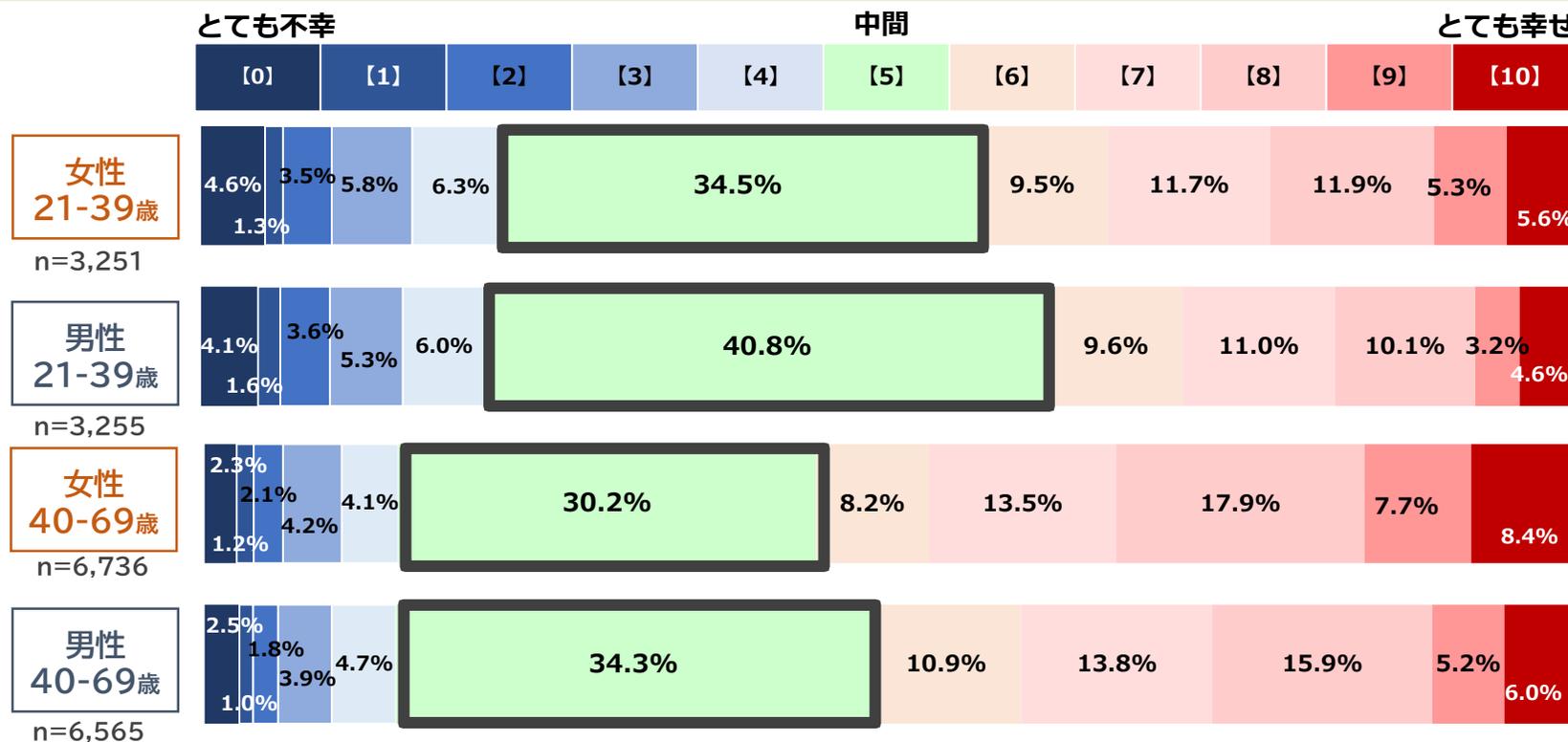
Q. 70歳になった時の「世帯収入」について、理想と現実にはどうなりそうか(②40-69歳)



## 4. 幸福度(①20歳のころ)

- ・現在の幸福度について、「20歳のころ」を年齢別に見たものが下記になる。
- ・全ての性年代で、「5(中間)」が最も高いが、「男性21-39歳」で最も高い。
- ・「7以上」は、男女とも「40-69歳」で高い。

### Q. 現在、あなたはどの程度幸せか(①20歳のころ)



## 4. 幸福度(②現在)

- ・現在の幸福度について、「現在」を年齢別に見たものが下記になる。
- ・全ての性年代で、「5(中間)」が最も高いが、「20歳のころ」と同様に「男性20-39歳」で最も高い。
- ・「7以上」は、「20歳のころ」と同様に男女とも「40-69歳」で高い。

### Q. 現在、あなたはどの程度幸せか(②現在)

